

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名

東京都

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	大島町立第一中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	1	2	1	6	14
生徒数	43	34	45	4	126	

研究の概要

1. 研究主題

基礎学力向上の課題を明らかにする組織としての取り組み  
～基礎学力向上の確かな定着を図るための指導法の工夫～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科及び内容

・全学年、全教科、全領域で実施している。  
全授業において導入とまとめを工夫し、生徒の意欲を喚起させる方法について研究している。  
朝読書、朝学習、学習ノートなどの学習環境の創造を目指す。また、家庭や生徒自身への学習意欲の喚起を促す。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 基礎学力向上の課題を明らかにする組織としての取り組み ～基礎学力向上の確かな定着を図るための指導法の工夫～</p> <p>研究の仮説</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の導入を工夫することにより、学習意欲は高まる。</li> <li>・授業のまとめにおいて、各授業の評価規準に従った適切な評価を行い、それに基づいた効果的指導を工夫することにより、成就感を味わい、基礎学力が定着する。</li> <li>・授業の授業形態を少人数指導や習熟度別学習の工夫をすることにより、学習効果が高まる。</li> <li>・朝読書を実施し、読解力を高めれば、各教科の基盤である日本語力が鍛えられ、総合的な学力の向上が図れる。</li> <li>・きめ細かく学習の喚起を展開することにより、基礎学力は定着する。</li> </ul> <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 授業 授業においては、単元計画の段階で設定したB規準に基づいて、1時間1時間の授業で指導と評価の一体化を充実させることを目指している。内容の工夫や授業形態の工夫を生徒の実態にあわせて行っていくことがあげられるが、生徒が毎時間の授業に意欲的に取り組める工夫を全教員で組織的に行う研究を進める。内容の工夫においては、全教科全授業の導入でウォーミングアップ学習(2～3分の導入の工夫)、まとめではクーリングダウン学習(最後の5分間で自己評価や家でやってくるの確認などをさせる時間)を実施している。授業形態の工夫においては、本校では数学と理科、選択授業や総合学習においてITの形態がすでにとられているので、習熟度別の形態も取り入れて行っていく。選択においては、選択の授業時間を拡大して生徒の希望と実態にあわせて開設している。</p> <p>(2) 生徒の学習意欲を喚起する諸環境の創造 ～朝学習、学習ノート、朝読書の取り組みについて～ 今年度は、日々行われている朝学習、学習ノートの取り組みを見直し、朝読書の導入を行い、日頃からの積み重ねを同時に行っていくこととした。</p> <p>ア 朝学習</p>
--------	--

国語 新出漢字を練習する。漢字の意味を理解して覚える。、筆記速度を上げるため、意味や例文を確認しながら練習する。(1週間で B4 用紙 3 枚書き 14 熟語程度 [ひとつの熟語につき 5 回練習] 読み 14 熟語程度)

数学 授業内容の復習。教師作成の問題を1日1枚(B5)を目標とし取り組む。解答は金曜日の確認テストまでに教師から受け取る。わからないまま時間を無駄に過ごすことの無いように教科書やノートを見て学習するように指導する。

英語 教科書の単語、短文を練習。リスニングは出来るがスペルを覚えていない生徒が多いため、たくさん書いて覚えることを目標としている。ひとつの単語短文につき6回練習をし、1週間で出来るところまで進める。

#### イ. 朝読書

今年度4月の実施初日は、本を持ってこなかった生徒が各クラス4~5名いたが、以後は全員が読む本を用意している。挨拶をしてすぐに読書するよう指示を出す。2~3名の生徒が話していても、ほんの数秒で静かになる。担任が遅れて教室に行ったとき、自分たちで静かに読書を始めていた時があり、習慣化してきている。

#### ウ. 学習ノート

今までは、学級担任が学級全員のノートを見ており、毎日のノート観察に限界があった。学年教員全員によるグループ担任制を導入し、きめ細かな指導を行えるようになった。また、各教科の教員からもアドバイスをもらえることにより、各教科の授業内容との連携も図れている。

#### エ. 家庭への喚起

保護者会や家庭訪問、面談などで学習状況の把握や改善指導など行っているが、今年度は、保護者・教員・生徒・地域の方対象に、

勉強することの大切さや意義を伝えるため、

夏休みに講演会を行った。「なぜ勉強しなければいけないのか」をテーマに生徒本人だけでなく、周りの大人がしっかりと勉強の意義を再確認する機会とした。

#### 朝の時刻

火~金(月曜は朝礼)

8:00 ~ 8:10 朝学習

8:10 ~ 8:20 朝読書

8:20 ~ 8:25 朝学活

8:30 ~ 第1校時授業

ねらい: 1日の始まりに学習に対する姿勢をつくり、遅刻を防ぐため

授業内容を定着させるため

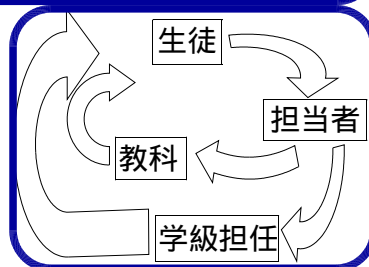
方法:

教科...国語 数学 英語 週変わり

内容...授業に即したもの(教員が作成)

確認...金曜学活等で確認テストを行う

ねらい: 朝のひとときを落ち着いた静かな雰囲気にする。  
読書習慣を身につけ、生徒の内面の成長をうながす。  
「読書力」を基礎学力の一端としてとらえ、基礎学力向上の取り組みの一環とする。

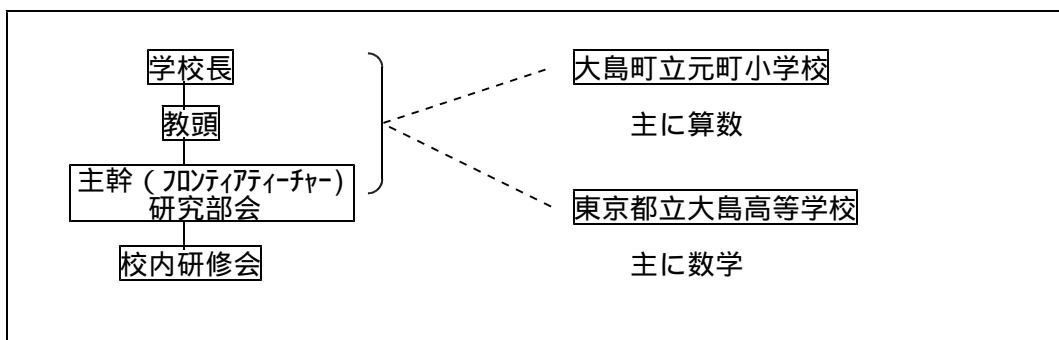


ねらい: 家庭学習の習慣を身につけるため。

学習方法のアドバイスにより、学習方法を学ぶ。

平成16年度	<p>テーマ 基礎学力向上の定着を図るための指導法の工夫 研究の仮説</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各授業における学習のまとめりごとの評価規準をきめ細かく立て、各授業の評価規準に従った適切な評価を行い、それに基づいた効果的指導を工夫することにより、成就感を味わい、基礎学力が定着する。</li> <li>導入や評価の工夫をし、授業改善に全教員で取り組むことにより、学習意欲が高まり、基礎学力が定着する。</li> <li>家庭や地域が学習の必要性を今以上に感じれば、生徒達の学習に対する姿勢は変わってくる。</li> </ul> <p>研究の内容・方法</p> <p>(1) 授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科の専門性ととも学習に取り組む姿勢やそれぞれの授業の構成の基本を全教師で共有する。</li> </ul> <p>(2) 生徒の学習意欲を喚起する諸環境の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域への働きかけなど側面からの学習環境の創造を研究する。</li> </ul>
--------	--

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究の成果及び今後の課題

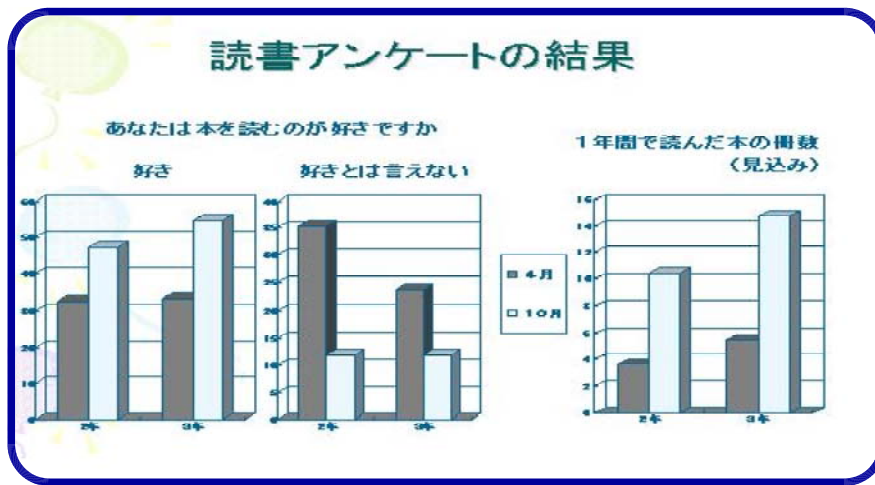
#### 1. 研究の成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>全授業で共通して、導入（ウォーミングアップ学習）やまとめ（クーリングダウン学習）の授業の工夫を行うことにより、学校組織として授業改善に取り組む素地が出来てきている。しかし、生徒、保護者からの学校評価では、授業が楽しくなったと評価するものが40%程度にとどまった。</li> <li>評価活動をきめ細かくしていくことによって、単位時間における評価規準を達成させるための授業計画や授業内容の充実が見られている。</li> <li>学習意欲を喚起するさまざまな取り組みや、効果測定の見え方が表れてきた。1学年の数学において、基礎学力のどの部分が欠落しているのかを調査した。問題ごとの男女別の通過率を出し、データ化した。欠落した部分を知り、個別のフォローを充実することにより、生徒の学習意欲に向上が見られている。漢字において、国語の授業の中で漢字テストを行い、データをとっている。漢字学習の動機付けになっている。</li> <li>夏休みの補習や土曜日の補習など取り組みを工夫し、学習時間を確保した。</li> <li>それぞれの教員の意識がさらに高まり、生徒のための授業改善について、教科に関わらない共通の話題が多くもてた。</li> </ul>
---

第1学年 算数チェックテスト調査結果(2004.1月現在) 第1回'03.12/11~16 第2回'04.1/13~20

No.	問題	演算種類	学年	男正答率①	男正答率②	女正答率①	女正答率②	学年正答率①	学年正答率②
1	2635, 3562, 6352, 5623で3番目に大きい数		2年	95.8	91.7	89.5	100.0	93.0	95.3
2	364+236+946+872	たし算	3年	83.3	75.0	78.9	78.9	81.4	76.7
3	826+887+256+814		3年	79.2	82.5	84.2	94.7	81.4	76.7
4	521-235		1年	83.3	95.8	94.7	89.5	88.4	93.0
5	2015-813	ひき算	3年	87.5	95.8	100.0	100.0	93.0	97.7
6	4802-3395		1年	83.3	87.5	78.9	78.9	81.4	83.7
7	28700は□の100倍		3年	91.7	91.7	94.7	89.5	93.0	90.7
8	23×4の答えは□×4と□×4をあわせたもの		3年	66.7	70.8	36.8	68.4	53.5	68.8
9	386×473		3年	66.7	75.0	57.9	52.6	62.8	65.1
10	975×367	かけ算	3年	70.8	66.7	57.9	78.9	65.1	72.1
11	891×274		3年	70.8	75.0	63.2	84.2	67.4	79.1
12	1014÷26		4年	95.8	91.7	94.7	100.0	95.3	95.3
13	1648÷17	わり算	4年	91.7	87.5	94.7	100.0	93.0	93.0
14	5372÷68		4年	91.7	87.5	89.5	100.0	90.7	93.0
15	0.9 1.2 0.1 1.0を小さい順に		4年	83.3	83.3	73.7	73.7	79.1	79.1
16	0.1を27個あわせた数は		4年	83.3	83.3	94.7	68.4	88.4	76.7
17	10.8+1.2		4年	79.2	87.5	89.5	84.7	83.7	90.7
18	10.1-8.9	小数+	4年	83.3	75.0	78.9	89.5	81.4	81.4
19	201.1-188.8		4年	79.2	66.7	68.4	78.9	74.4	72.1
20	18.2×0.2		5年	70.8	70.8	68.4	89.5	69.8	79.1
21	40.6×1.3	小数×	5年	75.0	79.2	57.9	84.2	67.4	81.4
22	17.6×10.9		5年	50.0	70.8	47.4	84.2	48.8	76.7
23	2.8×1.7=28×□		5年	12.5	37.5	15.8	21.1	14.0	30.2
24	4.56÷1.2		5年	87.5	91.7	68.4	89.5	79.1	90.7
25	6.32÷0.8	小数÷	5年	83.3	87.5	73.7	78.9	79.1	83.7
26	2.61÷0.09		5年	83.3	83.3	68.4	89.5	76.7	86.0
27	1.4÷0.35=□÷35		5年	95.8	75.0	63.2	57.9	81.4	87.4
28	489.2を十の位で四捨五入	四捨五入	5年	20.8	58.3	21.1	47.4	20.9	53.5
29	1.62を小数第一位で四捨五入		5年	50.0	58.3	31.6	57.9	41.9	58.1
30	32と48の最大公約数	最小公倍数 最大公約数	5年	41.7	58.3	42.1	57.9	41.9	58.1
31	6と4と9の最小公倍数		6年	58.3	79.2	73.7	94.7	65.1	86.0
32	ようかんを食べた分を分数であらわす		4年	95.8	95.8	89.5	94.7	93.0	95.3
33	$\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$	分数+	5年	91.7	91.7	84.2	100.0	88.4	95.3
34	$\frac{1}{12} + \frac{1}{12}$		6年	54.2	66.7	47.4	63.2	51.2	65.1
35	$\frac{11}{9} + \frac{1}{3} - \frac{11}{12}$		6年	70.8	79.2	63.2	68.4	67.4	74.4
36	$\frac{1}{7} = \frac{11}{77} = \frac{11}{77}$		6年	75.0	79.2	57.9	89.5	67.4	83.7
37	$8 \times \frac{1}{2} = 4 \times \square$		6年	45.8	62.5	26.3	68.4	37.2	65.1
38	$\frac{3}{10} \times \frac{7}{10}$	分数×+	6年	79.2	87.5	52.6	63.2	67.4	76.7
39	$\frac{18}{11} \div \frac{2}{7}$		6年	83.3	87.5	84.2	89.5	83.7	88.4
40	$\frac{3}{12} \times \frac{1}{2} + \frac{1}{12}$		6年	62.5	66.7	63.2	52.6	62.8	60.5
41	数直線上の位置 (小数であらわす)	整数 小数 分数 の 混合	4年	87.5	95.8	94.7	94.7	80.8	95.3
42	数直線上の位置 (分数であらわす)		4年	79.2	83.3	78.9	89.5	79.1	86.0
43	$\frac{1}{12} \times 8 = \frac{11}{12} \times \square$ を小さい順に		6年	41.7	41.7	21.1	31.6	32.6	37.2
44	400-9X(4+38)		4年	75.0	79.2	63.2	63.2	69.8	72.1
45	49-35÷7		4年	79.2	91.7	73.7	89.5	76.7	90.7
46	4割6分を小数に		5年	54.2	88.7	21.1	21.1	39.5	46.5
47	1200円の23%は□円		6年	58.3	54.2	21.1	42.1	41.9	48.8
48	濃度20%の食塩水35g中の食塩の量は何g?		6年	54.2	54.2	21.1	36.8	39.5	46.5
49	4つの書から比例するものを選ぶ		6年	33.3	58.3	5.3	31.6	20.9	46.5
50	入場券40枚を男女で2:3の比で分けると男の枚数は?		6年	50.0	41.7	26.3	26.3	39.5	34.9
得点				71.3	75.7	62.9	73.8	68.5	74.8

・読書の意識調査の結果はアンケート結果からわかるように読書好きが増えた。



## 2. 今後の課題

- ・授業の改善の取り組みの中で、教科の専門性を個々の教員がさらに深める。
- ・学習に取り組む姿勢を高めるために、個々の授業の構成を全教師で共有できる取り組みを模索する。
- ・ウォーミングアップ学習やクーリングダウン学習が本当に子どもに明確に伝わっているのかを分析する。また、クーリングダウン学習からウォーミングアップ学習へのつながりや各授業の評価の仕方を研究する。
- ・各教科の効果測定を細かく収集しておき、基礎学力定着のために学校評価の資料とともに生かす。
- ・読書の取り組みより、どのような力がついたかの効果測定の仕方を研究・工夫する。
- ・基礎学力の定着のため、さらに授業時数確保に向けて、週時程の見直しや面談期間中、試験期間中の時間割の工夫などを行っていく。
- ・家庭や地域へ働きかけることにより、周りの支援体制を充実する。
- ・小学校や高等学校との連携を強化する。

### 学力把握のための学校としての取組

- ・定期的なもの  
読書、入学時の学力調査。9月、漢字の100問テスト。

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・平成16年4月HPリニューアル開設予定。  
<http://www1.ocn.ne.jp/~iccyuu/>

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- |                      |                                     |                                     |                             |                                |
|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 【新規校・継続校】            | <input type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | <input type="checkbox"/> 14年度からの継続校 |                             |                                |
| 【学校規模】               | <input type="checkbox"/> 3学級以下      | <input type="checkbox"/> 4～6学級      |                             |                                |
|                      | <input type="checkbox"/> 7～9学級      | <input type="checkbox"/> 10～12学級    |                             |                                |
|                      | <input type="checkbox"/> 13～15学級    | <input type="checkbox"/> 16学級以上     |                             |                                |
| 【指導体制】               | <input type="checkbox"/> 少人数指導      | <input type="checkbox"/> T・Tによる指導   |                             |                                |
|                      | <input type="checkbox"/> その他        |                                     |                             |                                |
| 【研究教科】               | <input type="checkbox"/> 国語         | <input type="checkbox"/> 社会         | <input type="checkbox"/> 数学 | <input type="checkbox"/> 理科    |
|                      | <input type="checkbox"/> 外国語        | <input type="checkbox"/> 音楽         | <input type="checkbox"/> 美術 | <input type="checkbox"/> 技術・家庭 |
|                      | <input type="checkbox"/> 保健体育       | <input type="checkbox"/> その他        |                             |                                |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input type="checkbox"/> 有          | <input type="checkbox"/> 無          |                             |                                |